

事業所名

美幌町子ども発達支援センター 「なないろ」

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|------|------|---------|---------|--|
| 法人（事業所）理念 | | 運動や言葉、心の発達に不安を抱えるお子さんとその保護者に対し、個別または少人数でお子さんに合わせた支援を行っています。遊びを中心とした療育を通じて、お子さん一人ひとりの発達段階に応じたサポートを行い、社会的なスキルや自信を育み、お子さんが心身ともに健やかに成長できるよう寄り添います。 | | | | | |
| 支援方針 | | お子さんが楽しんで学べるよう、遊びを中心とした療育を提供します。お子さん一人ひとりのペースと発達段階に応じて、個別または少人数でのサポートを行い、身近な大人との関わりを通じて社会性を育み、積極的に行動できる力を引き出します。保護者と連携し、お子さんの成長を支える環境づくりを目指します。 | | | | | |
| 営業時間 | | 8 時 | 45 分 | 17 時 | 30 分 | 送迎実施の有無 | あり なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 健康状態を把握し、生活習慣（睡眠、食事、排泄等）のことについて確認しながら、お子さんにあったかかわりやできそうなことを提案し、自立に向けてのサポートをします。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | 体を使った遊び（例：走る、跳ぶ、転がる）を通して、運動能力を高めたり、運動遊びが好きになるようなかかわりをします。手足を使って遊ぶ（例：積み木やブロックを積む、簡単なボール遊び）ことで、手指の巧緻性を促します。これらの遊びを通して、お子さんの必要な感覚や、苦手な感覚の調整をしていきます。 | | | | | |
| | 認知・行動 | 一人ひとりの特性を把握し、それに応じた認知・行動の支援を行います。視覚や聴覚を活用した支援を通じて、お子さんの理解しやすい環境を整え、個別対応を行うことで、一人ひとりのペースに合わせた成長をサポートします。場に合わない行動が起きるときは行動の背景を考え適切な行動に向いていくよう支援をします。 | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 言葉を使って自分の気持ちや考えを表現できるようにしていきます。指導員が本児の気持ちを汲み取って代弁したり、言葉を使ったコミュニケーションの機会を増やし、言葉理解を深めていきます。言葉が出にくいお子さんには、絵カードやジェスチャーを使って、言葉以外の方法で意思を伝える支援を行います。非言語的なコミュニケーションを通じて、表情や身振りを活用する力を育てます。子どもの特性に応じた個別の支援を行い、家庭とも連携し、日常生活の中での言語活動をサポートします。 | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 大人とのやり取りを通じて社会性の土台を作ること大切にしています。お子さんは、信頼できる大人との関わりの中で、自己表現や感情のコントロール、他者への配慮を学びます。こうした基盤がしっかりとできることで、お子さんは他者との関係を築くための自信と安心感を得ることができます。保護者や支援者と共に、お子さんの社会性を育てるために、信頼関係を大切に、個々のペースに合わせた支援を行います。 | | | | | |
| 家族支援 | | ・親子療育 ・個人懇談 ・発達検査 ・講座の開催 ・保護者交流会 ・発達相談 | | | 移行支援 | | ・就園時、入学時の引継ぎ ・就学サポート（学校見学・担当教諭との面会・学校ごっこ） ・教育委員会との情報共有 |
| 地域支援・地域連携 | | ・美幌療育病院との連携（親講座開催 療育指導 受診同席） ・協力機関による専門支援事業（旭川子ども総合センター・釧路豊学校・帯広盲学校・こらいずたかす） ・保健師・保健所との連携 ・乳幼児健診の参加 ・園支援 ・園見学と情報共有 | | | 職員の質の向上 | | ・長崎大学子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム（eラーニング）の受講（1人当たり3か年の継続受講） ・近隣市町村主催の研修参加 ケース検討 ・虐待防止研修 |
| 主な行事等 | | ・保護者向け講座 ・バス遠足（年1回） ・歯科検診 ・個別または小グループによる学校ごっこ（年長児） ・家族懇談（年長児） | | | | | |